強化可とう管

継手付直管エフレックス エフレックス®S

古河電気工業株式会社

〒100-8322　東京都千代田区大手町2-6-4　常盤橋タワー
TEL 03-6281-8581　FAX 03-6281-8631
URL https://www.furukawa.co.jp/eflex/eflexs/
mail fec.kanro@furukawaelectric.com

２人で運搬可能な短尺タイプ

施工写真

施工写真

概　要

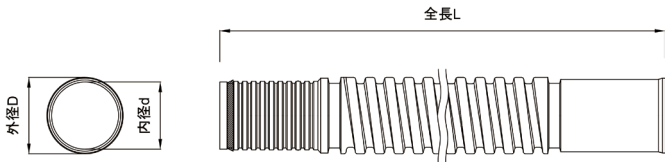
1967年、国内で初めて、地中埋設用ケーブル保護管「エフレックス®」を発売して以来、既に半世紀が経った。現在、エネルギーミックス2050に向けた再生可能エネルギーへのシフトが加速、SDGs気運の高まりも相まって、再生可能エネルギー発電所建設は急ピッチで進んでいる。同建設工事においては、太陽光発電パネルの周辺、風力発電風車の周辺、変電設備までの自営線、といったあらゆる場面で「エフレックス®」が使用されている。一方で、近年の人口減少は、これら建築現場にも影を落としており、建設業従事者減少、若年層新規就業者数減少に歯止めがかからない状況で、人手不足が深刻な課題となっている。そこで、「誰でも簡単に施工できる」製品への期待、需要が急速に高まっている。

●JIS C 3653附属書1に適合

仕　様

「エフレックス®S」は全長5.25m、有効長5mの短尺管で継手一体構造の直管タイプとなっている。

サイズはφ150、φ200となっており、難燃タイプ、一般タイプの計4種類をラインアップしている。



特　長

「エフレックス®S」は、継手付直管タイプの地中埋設ケーブル保護管である。従来の地中埋設用ケーブル保護管「エフレックス®」は長尺を特徴とする巻物タイプであったが、サイズが大きくなると巻き癖を矯正するために、多くの人手と時間を要していた。

「エフレックス®S」は直管であるため、巻き癖矯正が不要であり、すぐに施工ができる製品である。「エフレックス®S」は製品長5.25m（有効長5m）の短尺となっているため、運搬作業が容易に行える上、日進工事量の管理も簡単に行うことができる他、管本体が継手一体構造となっており、手で挿し込むだけで接続することが可能なため、施工費の削減にも貢献できる。特に自営線工事では即日復旧により日進工事量が少ないため、現場での切り分け頻度、巻き癖矯正作業の頻度も高かったため、施工コスト削減が期待できる。

1．直管であるため、巻き癖矯正作業不要

従来、重労働となっていた巻き癖矯正が不要でそのまま施工が可能である。

2．優れた可とう性

管自体に可とう性があるため、曲がり管は不要である。

3．短尺であるため運搬人員削減可能

短尺であるため2人で運搬作業ができる。

4．簡単に接続できる継手一体構造で施工短縮

治具不要で継手を挿し込むだけで簡単に接続できる。

接続作業手順

①オス側継手のパッキンに滑材を塗布

②メス側継手の内面に滑材を塗布

③オス側継手をメス側継手に挿入する（完了）